シリコンウインドウキーパー

STEP.1 油膜取りで使用

●グラスポリッシャーGPⅢ
●ダイヤクロス
●レジンスポンジB（推奨）



STEP.2~3 コーティング剤塗布

●シリコンウインドウキーパー
　●主剤
　●硬化剤
●専用スポンジ
　（別途用意）
●ティッシュペーパー
　（余分な成分が含まれていないもの）



STEP.4 拭き上げに使用

●仕上剤
●レジン用スポンジ
●ダイヤクロス



施工箇所　●窓ガラスフロント
●または窓ガラス全面



コーティング剤使用量目安

●フロントガラスのみ＝1セット使用
●窓ガラス全面【SSサイズ～Mサイズ】＝2セット使用
●窓ガラス全面【Lサイズ～XLサイズ】＝3セット使用

注意：炎天下を避け、日陰でガラスを冷まして作業をしてください。
ガラス面用のためフィルム・ステッカー・プラスチックガラス・ミラーには塗布しないでください。

STEP.1　洗車・油膜取り

❶ 洗車もしくは濡れたタオルで汚れを拭き取った後
スポンジをクロスで包み、「GPⅢ」をつける



参考
● スポンジの硬い面(推奨:レジンスポンジBなど)をダイヤクロスで包む。

❷ 縦横に擦りながら油膜を除去する

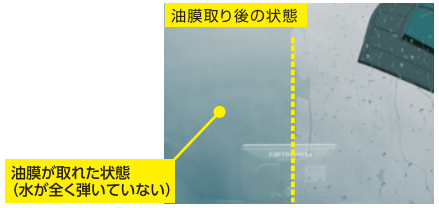


注意
● ゴム部分、塗装面に「GPⅢ」が付かないようにすること。

❸ 水で洗い流す。もしくは濡れたタオルで拭き取り、
油膜が取れたか確認し、水滴を拭き取る。



参考
● タオルで拭けない隙間の水は、エアーガンで飛ばします。
● 濡れタオルで拭いた際、画像左側のように
水が全く弾かなくなればOK

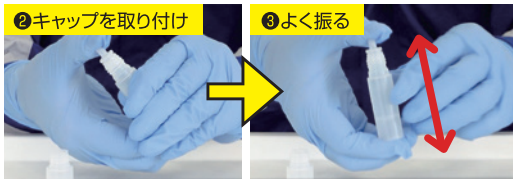


STEP.2　2液混合

❶ 「主剤」に「硬化剤」を
全て入れる



❷ 硬化剤の容器から
滴下キャップを取り外し、
主材容器に取り付け、
よく振る（10回）



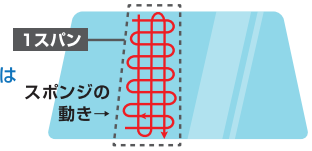
❸ 混合した液を
ティッシュペーパーを巻いた
「専用スポンジ」に
Wの字を書くように適量取る



STEP.3　塗り広げ

窓ガラスが乾燥した状態で作業してください。

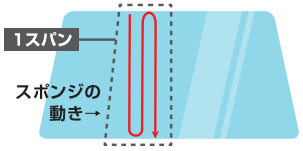
❶ フロントガラス1/4を1スパンとし、タテヨコに塗り広げる





参考
- 水がガラスに垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。
- 効果を出すため、隙間なくかつ十分な厚みが必要です

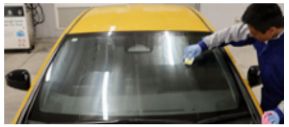
❷ 再度、タテに満遍なく塗り広げる。





注意
- ガラス面以外に付着した場合は速やかに除去する。
- 塗り伸ばしにくいと感じたら、都度コーティング剤を足す。
- ティッシュペーパーが破れた場合は新しいものに取り替える。

❸ 残りのフロントガラスに❶〜❷の作業を行う。



❹ 窓ガラスを乾燥させる。

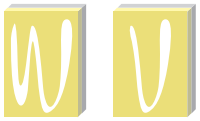
乾燥時間	20℃未満……15〜30分まで 20℃以上……10〜20分まで



注意
- 乾燥時間内に、速やかに「仕上げ」を開始してください。乾燥し過ぎると、拭き取りにくくなります。

STEP.4　仕上げ

❶「レジン用スポンジ」へ「仕上剤」を“Wの字”に満遍なく塗布（以降はVの字）。





STEP.4　仕上げ

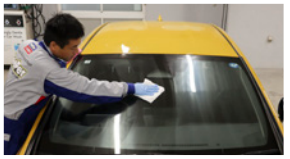
❷ フロントガラス1/2の面積にタテヨコしっかりとこすり

参考
- 仕上剤で塗りスジ跡を崩し切ります。



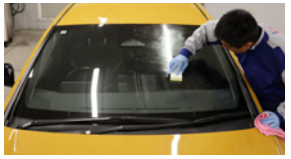
❸ “乾く前に”「乾いたダイヤクロス」で仕上げ拭き。

参考
- 仕上剤で塗りスジ跡を崩せば、キレイに仕上がります。



❹ 残りのフロントガラスに❶〜❸の作業を行う。

参考
- 作業完了後、すぐに濡れても（雨に当たっても）性能に影響はありません。



❺ 施工した箇所に水をかけて、撥水ムラが無いことを確認。

注意
- 撥水ムラがある場合は、水滴を拭き取り、ムラがある部分をもう一度コーティング・仕上げを行なってください。



※窓ガラス全面の場合は STEP.1〜4 を窓ガラス全面に行います。



施工動画マニュアル→
シリコンウインドウキーパーの作業を収録